



一緒に 働こう！

西南女学院

<2018・2019年度職員募集>

今回は、西南女学院に就職された先輩の声を紹介しますね

新しい環境へ・・・



私は中途採用で女学院に入職し、施設課の業務を行っています。

自分自身が本当に戦力になれるのか不安でしたが、上司に「本当に君が入ってくれて助かった」と言っていたことが、とても嬉しかったです。

入社前は、学生が関わる部署しかイメージがつかなかったのですが、他にもたくさんの部署があり、多種多様な業務を行っていることが分かりました。学生と直接的に関わっていないように見える部署でも実際は間接的に関わっており、今では学校職員に対して益々魅力を感じ、もっともっと頑張っていこうと思っています。

頑張る人をサポートすること



私は、学生時代に学外実習や部活動に力を注いできました。その際、事務職員の方々にたくさん支えてもらい、充実した学生生活を過ごす事ができたことを就職活動時期に思い返したことがきっかけで、「頑張る人をサポートすること」が就職活動の軸となりました。初めは西南女学院でなければいけないといった思いは正直ありませんでした。しかし、他社との選考過程で雰囲気や、やりたいことの観点から、私はこの学校で働きたいと強く思いました。

現在、就職課に勤務しています。資料作成や、文章校正など、作り上げた資料等が一回で合格を頂いたときや、学生の進路が決まった時にやりがいを感じます。学生の達成感＝仕事のやりがいです。

セインパイの声、いかがでしたか？

就職活動では悩むことばかりと思いますが周りの意見に流されず、自分が今まで経験したこと、自分の考えに自信を持っていけば、きっと大丈夫です。自分に合った企業と出会えるためにより一層自分を磨いてください。

みなさんの就職活動が実り多いものとなりますよう心より祈念しております。

【西南女学院を見学ご希望の方へ】
西南女学院への就職をご検討の方で、職場を見学してみたいと思われる方がおられましたら、氏名・メールアドレス・電話番号をご記載の上、メールにてご連絡ください。訪問希望の日時は、あらかじめご相談させていただきます。なお、受付は、6月末までです。

【E-mail】



jinji@seinan-jo.ac.jp

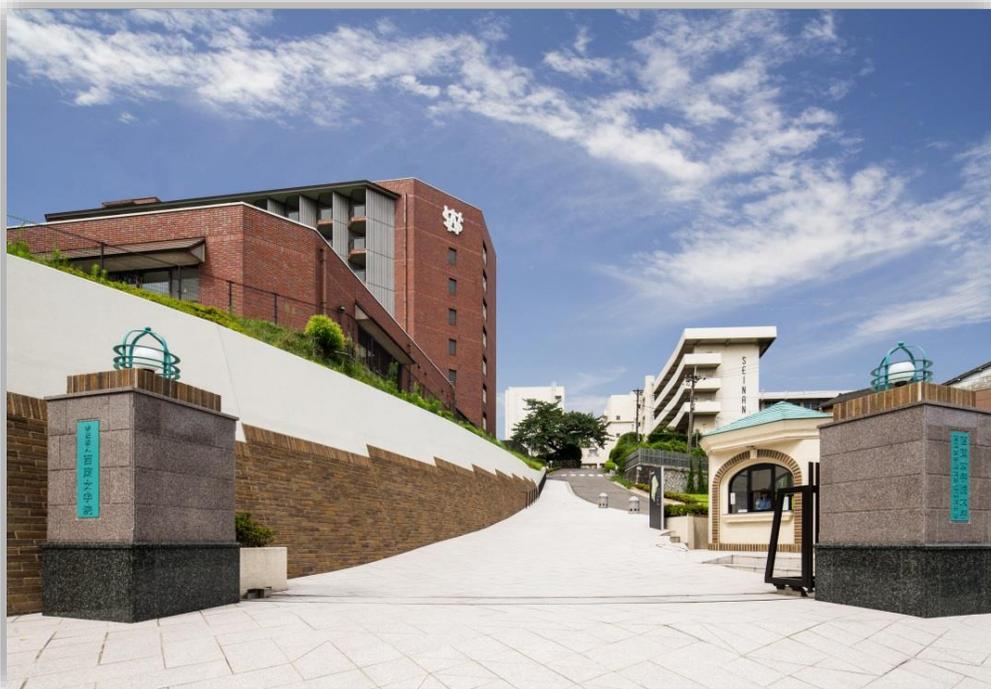
一日の流れ、どんな感じ？

配属先によって仕事の内容は異なりますが、職員の代表的な仕事は、校内での事務業務です。おおむね、8時45分～16時50分の勤務です。また、担当する部署によって異なりますが、一日の流れの例はこのようになります。

- 8:45 朝礼、パソコンのメールチェックなど
 - 9:00 デスクワーク
 - 11:10～12:10 昼食休憩
 - 12:10～16:50 午後のお仕事
(書類の作成や窓口業務等をします)
 - 16:50 帰ります
- ※残業や、休日出勤の日もありますが、年間休日もしっかりありますよ。



100th に向かって



創立 100 周年。その先へー

1922(大正 11)年に、米国南部バプテスト派の宣教師により、日本の女子高等教育のために設立された西南女学院は、2022 年に創立 100 周年を迎えます。

創立時、4 年制の公立学校が多い中で、5 年制の高等女学校を設立するなど、教育への先見性を発揮し、その歴史は、現代に受け継がれています。

創設以来の伝統を背景に、あらたな時代の要請に応え、建学の精神を具現化し、発展させるために、常に教育研究機能を高めています。本学院は、キリスト教に基づく使命感、優れた教養と知識と技能をあわせもつ女性を育成するため、総合的な学園として発展し続けています。

あなたの知性と活力を、ぜひ、この『西南女学院』で発揮してください。
100th を迎える西南女学院。これからの歴史を一緒に作りませんか。

